



# 広島同窓会会報

第 33 号  
発行  
広島工業大学同窓会  
編集  
同窓会編集委員会  
〒740 広島市中区佐野3丁目1-1  
広島工業大学内  
TEL.082-821-3121(0)50(1570)



## 広島工業大学同窓会の皆様へ

広島工業大学学長 櫻井 春輔

広島工業大学同窓会の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。私は前任者の川崎学長のあとを受けて4月1日付で学長を拝命いたしました。よろしく申し上げます。まず簡単に自己紹介をさせていただきます。私は神戸大学工学部土木工学科を卒業し、その後同大学に33年間勤めました。私の専門は岩の力学です。簡単に言えばトンネルやダム、基礎、地下発電所などの設計、施工を支援するための力学です。最近では放射性廃棄物の地層処理の關係で注目されています。

さて、広島工業大学に赴任して3ヶ月、まだ様子ばかりかもしれませんが学生は非常に真面目であり、また先生も非常にきめこまかく教育研究に努力されているのが印象です。卒業生はすでに27,000人ほどとお聞きし、また、多くの方々が社会の重要な地位において活躍しておられる様子を拝見し嬉しく思います。

ご承知のように本学には工学部と環境工学部があります。いま、工学部は開学以来初めての大規模な改組に取り組んでいます。すでに文部省に申請書を提出しました。順調に行けば来春から新しい組織でスタートします。改組の理由は、小分子化就職対策などいろいろあるでしょう。しかし、21世紀に向けてあらゆる分野でビッグンが起きている現状を考えると、大学も例外ではありません。従って、変化すること

によって大学を活性化させ、そこから、新しい大学の創造が可能になると考えています。

ここで、広島工大の新しい工学部像を簡単に紹介しましょう。まず新しい学科名ですが、電子・光システム工学科、電気・デジタルシステム工学科、機械システム工学科、知能機械工学科、知的情報システム工学科、建設工学科の6学科構成です。そして、全体としての定員増は併りません。言いかえれば、学生数の増を伴わない組織の改革です。その背景には、従来の電子、電気、機械、土木、建築、経営という枠組ではもはや21世紀の社会の変化およびニーズに対応できないとの判断があるわけです。それぞれの学科がどのような教育研究を行うおとしていくかにについての詳細はまた別の機会に紹介されると思いますのでここでは省略しますが、いずれにしても、科学技術の発展と社会のニーズに対応して、学問の枠組も変わるの自然のことと思います。とは言っても、従来の電気、機械、土木などがまったく不要になるということではありません。それらの枠組みが変わり、従来の学問に加えて、各分野の境界領域における学問も重要になると言うことだと思います。

21世紀に向けて、いま、環境、資源、エネルギー、食料、人口など、どれをとって

も人類がいままでで経験したことのない困難な問題が山積しています。これららの問題の解決の力をにぎるのは科学技術であり、それを実際に具現化するのは工学です。したがって工学の分野における優秀な人材の確保は急務です。このような状況の人材で“教育は要なり”を建学の精神として広島工業大学は工学系の優秀な人材を育ててこれを第一の目標として日々研鑽に努めております。

今日の先端科学技術の進歩はめざましいものがあります。技術者の育成も従来の大学の教育だけでは十分であり、大学院の教育が重要になることは言うまでもありません。したがって本学におきまして、大学院の充実と力を文部省のハイテクリサーチ及び競争フロンティア推進拠点の指定を受け、人工衛星を用いたリモートセンシング技術の研究や、超高速塑性加工技術などの最先端技術の研究開発を行い、この分野のリーダーシップをとっていきます。また、今後産学協同がますます盛んになることが予想されます。その中で今後企業と大学の共同研究がますます盛んになると思います。卒業生の皆さんにはぜひその場合の構わしたりの役目をお願いしたいと思っています。

広島工大の一つの特色は卒業時の学生の就職の良しさが挙げられます。この厳しい折りにも95%以上の就職率を誇ってきました。しかし、今年は特に厳しいようです。同窓生の皆さんにもご協力をお願いしたいと思つています。今回は皆さんにお願いすることばかりになってしまいました。しかし大学を良くするためには教職員と在学生が協力することはもちろん、卒業生の皆さんにも加わっていただき共に考え、共に行動することによって、広島工業大学がさらに発展することを夢見しています。



## これからの同窓会について

同窓会会長 道田 憲治

同窓会員の皆様、お元気で御活躍されている事と思います。昨年引続き同窓会長を、拜命する事になりましたので、本年もよろしく御協力の程、お願い致します。さ

て会員数も、二万七千名余りを数える大きな組織になりつつあります。その中で大学(大学院)を卒業し社会人となり、色々な組織の中で社会生活を送る事になります。そして五十年が過つうちに、色々な意味での自分一人では解決出来ない問題に沢山出くわします。そんな時、家族、知人とか相談される方もあるでしょうが、同じ語で青春を過した同窓生仲間と話し相談、語り合う事の方が、自分自身の気持ち、思考を青春時代にタイムスリップさせ問題解決につながる糸口を、見つけ出せる事が出来ると思います。(人それぞれですが)

この様な事だけではありませんが、職場支部、県支部、地域支部等の集りがより有意義で、大切なものになって来ると思います。又、少子化時代を迎える大学(大学だけではありませんが)、同窓会組織との関

係は、色々な面で、益々連携を深めていかなければ、ならないと思つています。そうした中、我国のあらゆる情報の中心であらう関東地域支部の充実と活性化を図っていかねばなりません。その為には、もっと細分化して小集団組織を作る必要があると思つています。東海、近畿も同じ事が言えると思つています。又、本部(広島)も、充実活性化に向けて改革して行かなければ、ならないと思つています。

全国に広がりつつある会員の皆さん、近く地域(支部)で総会(集会)があり、ましたら、仲間を誘って、積極的に参加して下さい。学生時代とは、違つた、懐柔(想)、情報が、得られます。

今後、同窓会活動に御理解と御協力を願ひする共に、会員皆様の益々の御健勝と御多幸、御活躍をお祈り致します。

## 第34回定期総会の報告

広島工業大学同窓会 副幹事長 松廣 貴

## 1. 総会・懇親会のご報告

平成11年度の広島工業大学同窓会総会が、平成11年4月24日(土)午後4時30分から5時30分まで総会、6時より8時まで懇親会が広島県民文化センターで開催されました。また、本年度も昨年と同様に総会に先立ち午後1時から4時まで各支部より支部長に出席いただいて支部長会議を開催いたしました。各支部の現状報告からはじまり、各支部の活性化あるいは同窓会本部に対する要望、本部から支部への要望など熱心に論議していただき、今後の本部と各支部との協力体制づくりにも有意義なひとときであったと思っています。

総会は道田会長の挨拶に始まり、幹事長の松廣氏の司会により出席者の中より、安田邦夫氏が議長に選出され、議長の議事進行により(1)平成10年度活動報告(2)平成10年度会計報告(3)会計監査報告(4)規約改正の順に審議を行いました。引き続き役員改選が行われ、新副幹事長の松廣より(5)平成11年度の活動方針案および予算案の提案がありました。承られて閉会しました。規約改正は、総会の開催日を4月に開催しなければならない日を6月末日までに開催しなければならないに変更されました。



第34回 広島工業大学同窓会懇親会

なお、本年度の同窓会役員は別記のとおりです。

総会終了後、櫻井名誉会長、鶴副理事長をはじめ各学科、各部局の教職員、体育会の学生の方々と交えた懇親会が開催され、道田会長の挨拶に続いて今年4月より学長に就任された櫻井学長を、副理事長が紹介され、心暖まるお言葉を頂いたのち、鶴副理事長に乾杯の首領をとっていただき懇親会が始まりました。

懇親会は終始なごやかな雰囲気で行われ、途中ゲームをし最後は参加者が一つの輪となって広島工業大学歌を合唱し閉会しました。

来年度も皆様の御参加を心よりお待ちしております。

## 2. 平成11年度活動方針

平成11年度の活動方針につきましては、支部長の評議員への選出等、支部を含めた同窓会活動の活性化を今年度も柱として活動してゆく考えであります。以下に活動方針を列記しておきます。

- (1) 会誌・会報の発行
- (2) 住所のメンテナンス
- (3) 支部活動への援助
- (4) 在学生奨助
- (5) 同窓会業務の大学との連携
- (6) 財産管理

## 平成11年度同窓会役員

◎-----地域支部代表者

氏名	学年	学部	氏名	学年	学部
相 模 役	中野 東男 41	電子	◎ 副 幹 事	H5 主木	
◎ 大友 賢治 42	電子	◎ 幹 事	◎ 中野 昌一 46	電気	
◎ 全 長	道田 實治 45	経営	◎ 幹 事	坂元 邦成 56	建築
◎ 副 会 長	栗谷 寿一 47	土木	◎ 幹 事	寺地 勉二 41	電子
◎	橋山 健次 44	建築	◎ 評 議 員	堀江 隆一 38	電子
◎	平井 俊彦 43	機械	◎	菅本 邦成 38	◎
◎	佐伯 健二 44	電気	◎	菅田 弘弘 38	◎
◎ 幹 事 長	内田 弘康 45	経営	◎	村上 信 38	◎
◎ 副 幹 事 長	菅原 辰夫 44	建築	◎	長光 光高 41	◎
◎	松廣 貴 48	経営	◎	大森 寿男 42	◎
◎ 幹 事	高田 季則 46	電子	◎	山崎 善典 42	◎
◎	内野 浩夫 49	経営	◎	大森 幸男 44	◎
◎	松岡 泰弘 43	機械	◎	田中 謙一 44	◎
◎	森田 正 53	建築	◎	風本 理 51	◎
◎	加藤 伸治 34	経営	◎	森本 博成 41	電気
◎	野村 利治 60	建築	◎	田村 博之 44	◎
◎	松村 文雄 63	機械	◎	松岡 弘弘 51	◎
◎	中田 佳二 315	経営	◎	水村 一彦 44	機械
◎ 幹 事	杉田 謙二 39	電子	◎	坂本 幸雄 45	◎
◎	村田 弘志 41	◎	◎	神 謙哉 46	◎
◎	川原 敬志 42	◎	◎	中村 幸人 46	◎
◎	野村 和隆 44	◎	◎	藤田 幸一 47	◎
◎	堀 隆 39	電気	◎	松村 邦典 51	◎
◎	坂上 憲治 42	◎	◎	新野 敏春 54	◎
◎	原田 義治 42	◎	◎	中田 敏司 58	◎
◎	菅原 光夫 44	電子	◎	藤川 晋一 H1	◎
◎	川口誠之介 43	◎	◎	新野 敏司 H2	◎
◎	松江 孝次 43	機械	◎	平川 敏郎 45	土木
◎	中西 利道 43	◎	◎	坂田 一雄 47	◎
◎	小西 正明 43	◎	◎	山本 良仁 47	◎
◎	高尾美津子 43	◎	◎	山下 忠彦 48	◎
◎	小池 利明 52	◎	◎	山崎 忠孝 48	◎
◎	山下 一彦 55	◎	◎	三上 明大 44	建築
◎	水島 健治 61	◎	◎	馬場 嘉廣 44	◎
◎	鈴木 文雄 62	電子	◎	加藤 孝子 45	◎
◎	伊藤 秀郎 45	土木	◎	山北 拓夫 53	◎
◎	大村 真 53	◎	◎	志木 繁雄 54	◎
◎	村野 勉典 59	◎	◎	原 弘明 54	◎
◎	手嶋 義典 49	建築	◎	幹 幸司 45	経営
◎	菅 謙三 30	土木	◎	新保 榮一 45	◎
◎	中村 繁治 347	機械	◎	藤山 弘明 48	◎
◎	高橋 博 49	◎	◎	菅田 弘弘 48	◎
◎	広津 隆 45	経営	◎	岡本 邦成 53	◎
◎	松原 貴 45	経営			

## 平成10年度同窓会会計報告

収入の部		貸与基金繰入金	
平成9年度繰越金	8,729,340	900,000	
入金金	2,919,000	助成費剰余金	559,416
終身会費	15,426,000	預金利息	153,232
総合会費	413,000	寄付金	812,900
預金利息	65,802	合計	22,870,047
雑収入	54,580	〈支出の部〉	
合計	27,609,722	会費	900,000
		次年度繰越金	21,970,047
		合計	22,870,047

## 〈支出の部〉

印刷製本費		平成11年度予算	
会費費	2,670,255	〈収入の部〉	
支部費	1,485,215	平成10年度繰越金	5,803,696
助成費	804,500	入金金	3,342,000
卒業記念品代	457,500	終身会費	17,316,000
通信運搬費	5,564,643	総合会費	400,000
消耗品費	868,203	預金利息	60,000
旅費交通費	1,181,180	雑収入	30,000
役員手当	32,000	合計	26,951,696
委託費	1,367,624	〈支出の部〉	
保守費	0	印刷製本費	3,000,000
福利費	16,315	会費費	1,500,000
慶弔費	61,500	支部費	1,150,000
賃借料	52,731	助成費	1,340,000
備品費	0	卒業記念品代	550,000
雑支出	24,360	通信運搬費	6,400,000
同窓会基金繰入金	4,000,000	消耗品費	1,200,000
奨学金繰入金	1,459,416	旅費交通費	1,650,000
記念事業準備金	1,000,000	役員手当	32,000
予備費	0	委託費	1,600,000
次年度繰越金	5,803,696	保守費	100,000
合計	27,609,722	福利費	60,000
		慶弔費	150,000

## 〈基金の部〉

平成9年度繰越金		同窓会基金繰入金	
本会より繰入	132,988,148	4,000,000	
記念事業準備金	4,000,000	奨学金繰入金	900,000
預金利息	1,000,000	記念事業準備金	2,000,000
合計	139,070,943	予備費	1,049,696
		合計	26,951,696

## 奨学金会計報告

収入の部		基金	
平成9年度繰越金	132,988,148	20,434,499	
本会より繰入	4,000,000		
記念事業準備金	1,000,000		
預金利息	1,082,795		
合計	139,070,943		



# 工大Spirit 近況報告1

## 株式会社本田技術研究所勤務 (昭和61年電子工学科卒業) 砂田 悟



### '96ワールドソーラーチャレンジ

母校を卒業して早いもので13年がたちました。卒業後は横浜の地で白物家電の製品開発に携わっていたのですが、4年間働いた後現在の会社本田技術研究所に転職し栃木県に住んでいます。この度の寄稿にあたり卒業後13年間関わった業務の中で特に印象に残っている「ワールドソーラーチャレンジ」への挑戦について書きたいと思っています。

さかのぼることN年前某月某日

うーんまずいな……アメリカ駐在がなー? 30年ローンで家建てたばかりだし現在の仕事も一段落して次に担当する車も決まっていなしい……何かはするでもしたかな?……突然のマネージャー(部長職)からの呼び出しで常に行ってみると開く一番、「砂田君 ソーラーカーレースって知っているかい?」そして「今度参戦するソーラーカーレースの電気系のまともなやつをやらせてあげたいのだが……」予想外の展開に於て今まで顔の中で用意してきた応募書の中には出てはまる言葉が有りませんでした。とあるはず「やってみよう」「やらせて下さい」とだけ書いてその場をはなれましたが、やはりとは言ったもののHONDAと言う会社は「レースは常に勝つもの」と言うカルチャーが有り、勝つ事を当然と考える中、もし私のミスで負けてもしたらHONDAと言う会社自身が負けたと言う事になってしまいます。このプレッシャーは相当なものがありました。しかし挑戦しがいの有る仕事である事に疑う余地は有りませんでした。

ワールドソーラーチャレンジと言うのは、オーストラリア大陸を北南に縦断する3010kmの1本道を太陽エネルギーだけで走破するレースで3年

毎に開催されています。過去にHONDAは「DREAM」と言うソーラーカーを開発して90年は2位、93年は平均车速84.96km/hの世界新記録で総合優勝を果たしています。

ワークスにレースに参戦するのでは求められる結果は世界新記録での総合優勝しか有りません。チームは過去のレースで記録した最低の日射量においても世界記録を走破する事を目標と定めました。目標を達成するための車両をシミュレーションで導き出し、各担当部品の個別目標値を設定します。レースにおける目標値は非常に重要で妥協は許されません。この目標値が定まればレースの半分が終わったに等しく、スタートラインに並んだ時点でレースはほぼ終了しています。

私の担当するシステムは太陽電池からパワーを絞出すピークパワートラッカー、バッテリーの状態をモニターするバッテリーシステム、最も効率の良い走りを実現するオートクルーズ、車体の状態を指令車へ転送するテレメタリシステム、と多岐にわたる、どのシステムもからの開発となりました。私の担当システムが目標値に達成せずに車の性能を落とす事は出来ませんし、ましてやトラブルで車を止めるわけには行きません。その当時の私の知識をはるかに超える技術内容を完璧にこなすまで大変な努力をしました。レース結果はチームメンバーの努力が実り'96DREAM号は3010kmを33時間32分、平均车速89.76km/h(公式記録)の世界新記録で総合優勝する事が出来ました。

HONDAは来年から自動車レースの最高峰であるF1にもチャレンジします。ぜひ応援をお願いします。なお、'96DREAM号についても技術的内容は「HONDA Technical Review vol.10」に詳しく記載されていますので興味のある方はそちらをご覧ください。



Web Site: <http://member.nifty.ne.jp/sunada/>  
E-Mail: [sunada@ca2.so-net.ne.jp](mailto:sunada@ca2.so-net.ne.jp)

# 工大Spirit 近況報告2

## メトロ電気工業株式会社勤務 (昭和52年電気工学科卒業) 中元 俊男



今年、22年ぶりに昭和52年卒業電気工学科の同期会を行いました。40代も半ばにさしかかり2000年の前に一度集まりましたが想いは昔同じく、とても盛り上がりました。集まった面々皆、それ相応の歳を取り、積み重ねた人生のりとも良い順をしていました。

私たちが学生番号482\*\*\*は、オイルショックの真っ只中に入社、卒業をしました。当時就職戦線は非常に厳しく、地元の大求人、専攻業務からの求人は僅かでした。そのような中、進級するのやと私の私を、現在のメトロ電気工業株式会社就職させて頂きましたのは、単に永井先生のおかげだながたかと思っています。

当社は、民生機器用、家庭電化用品の特殊電球の製造を中心に、このついでに、各種電圧表示板等の情報提供装置等の製造販売を行っているメーカーです。せっかく技術職で就職させて頂きましたが、在学中の不勉強が祟り2年目は、名古屋営業所に転勤になり、現在まで営業畑を歩いてまいりました。電気製品の代表、ユーザーが製品の寿命を短縮して頂ける商品(切れてしまった)の代表は、電球と乾電池と言われています。消耗品の為、セットされた商品を販売した後に3~10倍以上の需要が有りますがそのコストも大変厳しい業界です。その中でも家庭用一般電球や蛍光灯など大量消費商品以外の特殊電球は、今流し言えばニッチな商品で比較的堅固に推移してきました。その為、近年に至るまでさしたる荒波を被る事無く過ごしてまいりました。しかし、昨今の平成不況は、この業界にも否応無しに再編を迫ってきています。国内では、輸入品との競争。納入先メーカーの海外生産拠点移管に伴い現地の海外製品との競合。それらの競争力強化の為に

荷になる問題も山積しています。

しかし、電圧表示用パーツ製造の為に15年前より立ち上げてまいりましたオプト事業部が、青色発光、白色発光LED等が開発、改良された事により市場規模が飛躍的に大きくなり、希望が持てる事業となってきた事は、大変嬉しい事だと思っています。

暖房器事業部主力商品のコタツヒーターも他の家電と同じくように価格破壊の嵐を受けて価格非常に厳しく、日本国内の競合でも有り、国内で生産できる事は、まだ、まだと私が思っています。

現在、我々には、広島工科大学出身が私を含め3名います。1人は1年先輩、もう1人は2年後輩です。いずれも電気工学科生です。オイルショック故に広島工科大学として少数しか愛知就職しませんでした。今思えば、不況時期に何と入社して、同期の少ない人材で何でもやり、部も思うように与えてもらえなかった事等が、同窓生の結束力、仲良し意識を高める事につながったと思えます。3人共に、総務部長、管理事業部長、営業部長としての厳しい現状を打開すべき奮闘しています。

奮闘しているのは同窓生の皆様も同じだと思います。同期会に参加し、がんばっている友を見て、負かれたいと思いません。それと共に今更言うのもおかしな話ですが、学友は、とても良いものだと思います。これを機会に同窓会活動に、少しでもお役に立ちたいと思います。

最後に、今回このような機会を与えて頂き、大変感謝しています。ありがとうございました。

ご挨拶

初めて催された同期会にお忙しい中、多数参加頂きました先生方に、この場を借りて御礼申し上げます。今後同窓会を恒例にしたいと思います。同期生の皆さん、互いに連絡を取り合ってください。



右側、学生番号502044 網田 肇(管理事業部長)  
真中、学生番号472003 浅枝 博文(総務部長)  
左側(私) 学生番号482074 中元 俊男(営業部長)

# 在学生だより

## 学生自治会



学生自治会会長  
山城 英二

皆さんはじめまして、第3日期学生自治会執行部会長を務めております山城と申します。早もとの会長という役割に就任してから1か月が過ぎようとしております。

そもそも私がこの学生自治会に入部した動機は、大学側と学生の間に立ち学生による大学生活より良いものとするための活動をしている団体の一員に加わりたいという単純なものであり、ただそれだけで、しかし入部してから様々な活動を行っていく中で、肉体的にも精神的にも又時間的にもきつてい事が多くなりましたが、それを乗り越える意に自治会に対する想いは強く、現在のようにすっかり自治会にはまっております。今思えば私にとって自治会に入ったことは大学生活、もっと言えば今後の人生に大きく(良い面で)刺激を与えてくれたと感じております。

現在執行部は、全1日名で活動しております。一時期は人数不足により今後の運営に不安を抱いておりましたが、その面に関しては不安は解消されました。しかし喜んでははいられません。今の学生は気合いがなくてよく言われています。それは「自分たちのエネルギーを大学でなく、学外の活動に費やしている割合が増えている」ため、そう感じられるのだと思います。大学内での活気を取り戻すため、「学生の意識をどれだけ大学側に向けることが出来るか」これが今後の我々自治会執行部の課題です。

最後になりますが、役員一同一致団結してこれからがんばっていきますので、御指導御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

## 体育会

第24期広島工業大学体育会本部

本部長 細川 政浩



私が広島工業大学体育会本部は、我々の代で24代という年月を数え、創設以来大学とともに発展してきたことは誠に喜ばしいことです。

そもそも体育会は、スポーツを通じて心身の鍛錬・真の仲間づくりをする会です。

その目的を果たすために我が体育会では、全学生・教職員一体となった組織運営をしています。我々の活動は、運動部員によるサークル活動のみならず、一般会員を対象としたレクリエーション活動・体育祭・駅伝大会など、文字通り全学的組織として活動しています。

すべての体育会活動は、会員一般へのスポーツの普及に集約されています。あらゆる会員の要望に応じられるよう、買出用品の充実を図り、また日頃なじみの薄しいスポーツに親しんでいただけるよう各行事を運営しています。その他にもスポーツ観戦会などにより、スポーツ意識の向上を図っています。

近年、無気力・無関心・無責任な気質の学生による体育会の意識が低下しています。このような気質の工大生が、どうすれば自分自身の納得のいく生活ができるかという観点で、やはり「何か」目的意識をもって頑張っていくことと考え、スポーツがそのきっかけになるよう日々努力しております。

## 文化局

「文化局長として」



文化局局長  
谷川 弘国

私が文化局局長となつてから半年が過ぎながらと慣れてまいりました。先日、文化局主催行事であり、「春の芸術展」[Light Music Concert]を開催致しました。文化局員一同日々が戦いであり、そういった局員の努力と各サークルのみならず、その他関係者のみなさんの助けにより無事終了することができました。こういった行事を進行するにあたり一つの事を成し遂げる事、人をまとめること、そういつた事のむかつかさを知りました。広島工業大学のサークルのみならず、よりよいサークル活動ができるよう、私達文化局員一同努力していきたいと考えております。

文化局として先日多大雨による被害があった屋代地区での復旧作業を行いました。私達だけでなく自治会、体育会本部、大祭実行委員会をはじめ多くのボランティアのみならず力を借りました。実際、現場はひどく、作業も重労働でありました。数日の復旧作業の結果また気持ちよくなったと思います。こういった時こそ、学生の団結と地域のみなさんと協力が必要であり、私達の大学生活につながるのだと考へます。協力して下さったみなさまに感謝と文化局員としてとら大学を盛りだてていくよう努力していきたいと感じました。



## 2000年4月、 新しい時代の新しい工学が 広島工大で動き出します。

### 科学技術の「これから」をつくる2学部8学科。

5学科から10学科へ再編。研究領域をさらに広げる工学部とともに、既存の環境学部もますます充実。次代のテクノロジーをとことん学べる教育環境です。

	学科名	学びの内容
工学部	<b>電子・光子システム工学科</b> <small>Department of Electronics &amp; Photon System Engineering</small>	電子デバイス分野、電子情報分野に加えて、通信システム分野を強化。光通信理論やデジタル通信、光伝送工学などの知識を身につけ、社会の新しい技術ニーズに対応します。
	<b>電気・デジタルシステム工学科</b> <small>Department of Electrical &amp; Digital System Engineering</small>	コンピュータシステム分野、デジタル通信システム分野、エネルギーシステム分野を3つの柱と学びます。電気工学の基礎とエネルギーからも、高度情報化時代に対応できる技術を追求します。
	<b>機械システム工学科</b> <small>Department of Mechanical Systems Engineering</small>	情報システムを取り込んだ高機能化とともに、環境問題やエネルギー問題、リサイクルなどに対応したシステム、トータルシステムとしてのモノづくりの研究。学際的に取り組んでいきます。
	<b>知能機械工学科</b> <small>Department of Intelligent Machine Engineering</small>	介護ロボットやアシストメイトIDなど、機械の知能化や自律化に対応した高度な技術。人工知能や情報処理などの成果を取り入れた「人間支援システム」のあり方を学びます。
	<b>知的情報システム工学科</b> <small>Department of Information &amp; Intellectual System Engineering</small>	情報システム、情報処理、経営科学を中心に研究。高度情報化に対応できる情報処理のスペシャリストや経営技術をもったシステム開発者などの人材を育てていきます。
	<b>建設工学科</b> <small>Department of Civil &amp; Architectural Engineering</small>	道路や橋梁、港湾などの土木工学分野を社会建設工学科コース。住宅やマンション、学校、病院などを対象とした建築工学科コース。このふたつの分野に力を入れて研究していきます。
	<b>環境デザイン工学科</b> <small>Department of Environmental Design</small>	「環境」という視点から、インフラ、建築物、都市などを見つめ、人間にとって暮らしやすい環境を創造。空間、計画、開発などのソフト面を重視したデザインのプロセスを学びます。
	<b>環境情報工学科</b> <small>Department of Environmental Information Studies</small>	社会と自然の共生をテーマに、「環境情報」「自然環境」「工環境」の3分野で構成。地球環境をめぐり情報処理の収集、処理、解析、応用手法まで最新の情報処理技術を身につけます。

## 同窓会地域支部情報

- 在青支部総会 10月28日(土)18:00~  
ホテルニューオータニ会館にて開催予定
- 長崎支部総会 8月23日(土)18:00~  
長崎市にて開催予定
- 徳島支部総会 10月30日開催予定  
山口県下関市にて開催予定
- 岡山支部総会 11月6日(土)17:30~  
ホテルニューオカヤマにて開催予定
- 愛媛支部総会 11月13日(土)  
徳島県小松島にて開催予定
- 熊本支部総会 H12年1月末  
熊本大通センターホテルにて開催予定

### 同窓会奨学金基金へのご寄付のお願い

同窓会奨学生の財源は、会員の皆様からのご寄付によってまわっております。資金確保のため、ご協力をお願いいたします。  
要領は下記の通りです。  
金額：10,1000円  
送付方法：口座振替(同社の振替用紙をご利用ください)

### 外部出版社が発行する卒業生名簿は同窓会とは一切関係ありません。

先週、「文芸春秋」から「広島工業大学同窓会編」の発刊内蔵と、それに伴う住所等の調査(八万七千名卒業生の規模に届いたようです)が、これにきましては、同窓会とは一切関係ありません。  
また、同窓会事務局と称し、勧誘先等を電話で調査しているところもあり、本会にお問い合わせや苦情の電話をいただくことがあります。同窓会では、毎年発行の同窓会誌・会報に同時の「連絡先調査票」による調査のみで、その他の手段での個人データ調査は行っておりません。